

経済指標レポート 第194号

(社) 関西経済連合会 経済グループ (担当: 高島)

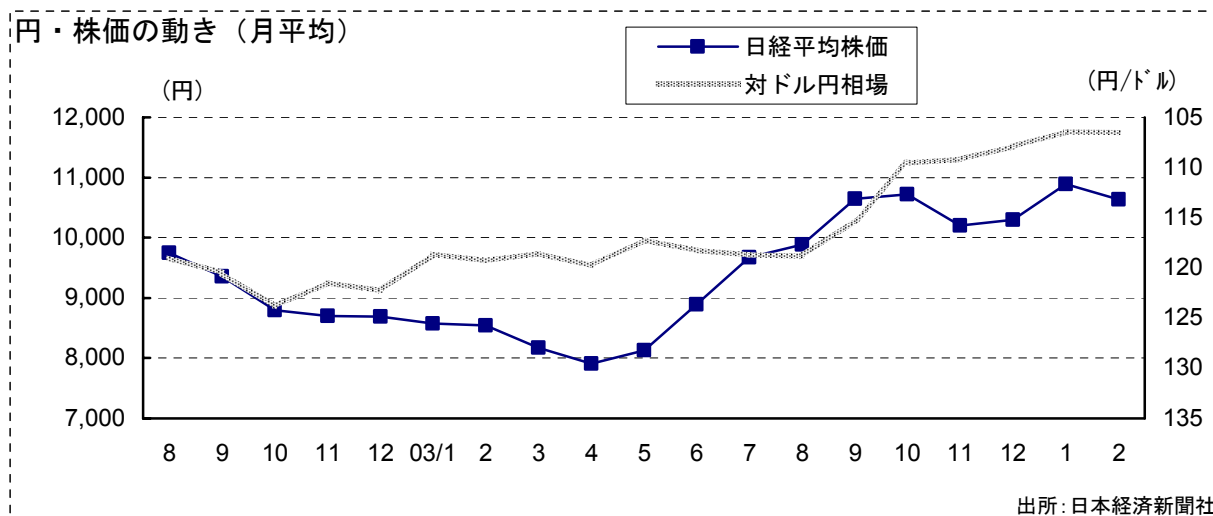
Tel: 06-6441-0102 Fax: 06-6443-5347

景気回復の動きが各種の経済指標の上でかなり目立って出てきた。高成長を続ける中国はじめアジア地域とのつながりの深い関西経済は、輸出が 22 ヶ月連続で対前年同月比を上回っている。好調な輸出に牽引される格好で、生産や設備投資も堅調であり、全国水準を上回って推移している指標も多い。全国に比べ常にすべての面で悪い状態にあった、かつての一時期とは隔世の感がある。確かに、失業率は全国より高水準にとどまるが、一部の中小企業で稼働率がかなり高まってくるなど回復の機運が地域に徐々に波及してきたことを反映し、有効求人倍率は改善基調にある。

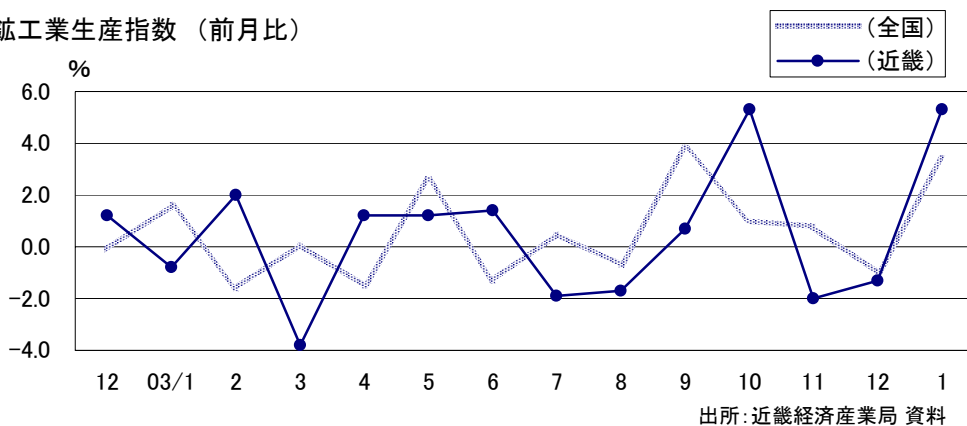
今後、こうした景気回復の基調がどこまで続くのだろうか。今回の回復が輸出に支えられていることから、国際経済の動向が注目される。太平洋経済展望 (PEO) 日本委員会の見通しによると、好調な米国経済は 11 月の大統領選の前後で変化を見せ、04 年に 4.7% にまで達する実質 GDP 成長率が、05 年には 3.8% にまで減速するとの見方が示されている。米国への輸出に依存するアジア経済だが、大きくスローダウンすることはないものの、その影響を少なからず受けることになるだろう。日本経済についても 05 年には減速するのではないかと予想されている。

好調な輸出に引っ張られ、生産と設備投資が増加し、消費も堅調…。現状に対しては“ジョブレス・リカバリー”との辛口評価もあるが、公共投資に頼らない“理想的な”景気回復との見方もできるかもしれない。オリンピック・イヤーは総じて景気が良いとの説もある。緩やかな回復過程が続きそうな、この 1 年くらいを目途に、わが国そして関西経済は、これまで抱えてきた構造的な課題に真正面から取り組み、自律的な成長軌道を大きく切り拓いていけるかどうか、その岐路に立っている。

<各指標の動き>

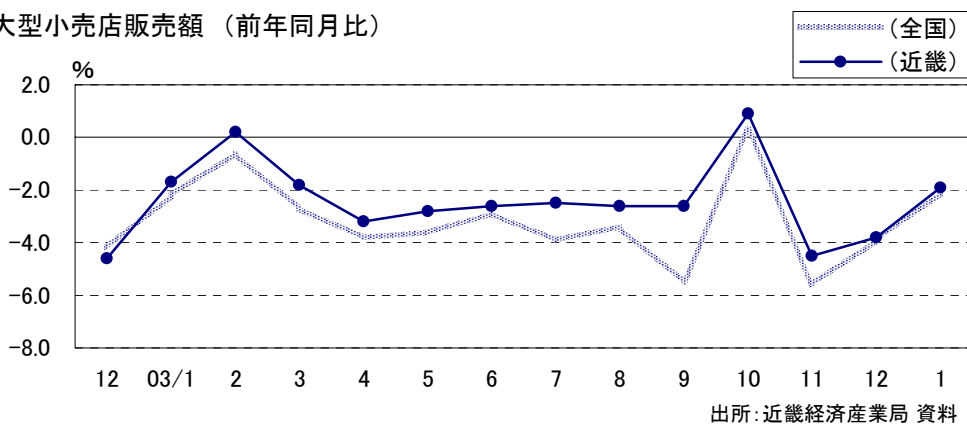


鉱工業生産指数（前月比）



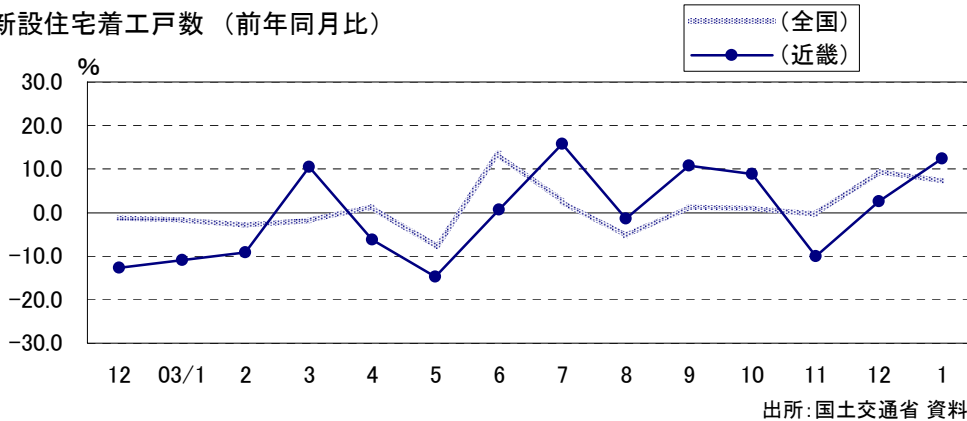
◇近畿は、前月比 5.3% 増と持ち直しの動きである。業種別にみると、一般機械工業、電気機械工業などが上昇に寄与した。

大型小売店販売額（前年同月比）



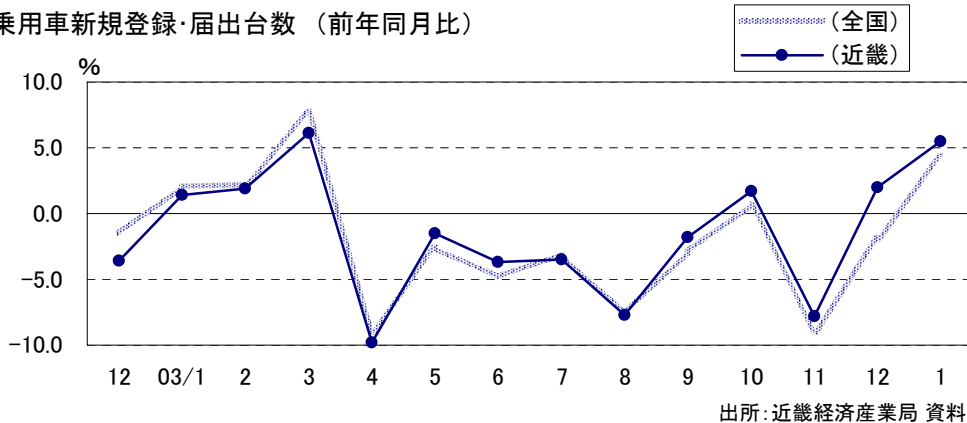
◇近畿は、衣料品・飲食料品の不振から 1.9% 減。百貨店は、クリアランスセール効果で減少幅は縮小したが衣料品が不振。スーパーは、BSE や鳥インフルエンザの影響で飲食料品がふるわなかった。

新設住宅着工戸数（前年同月比）



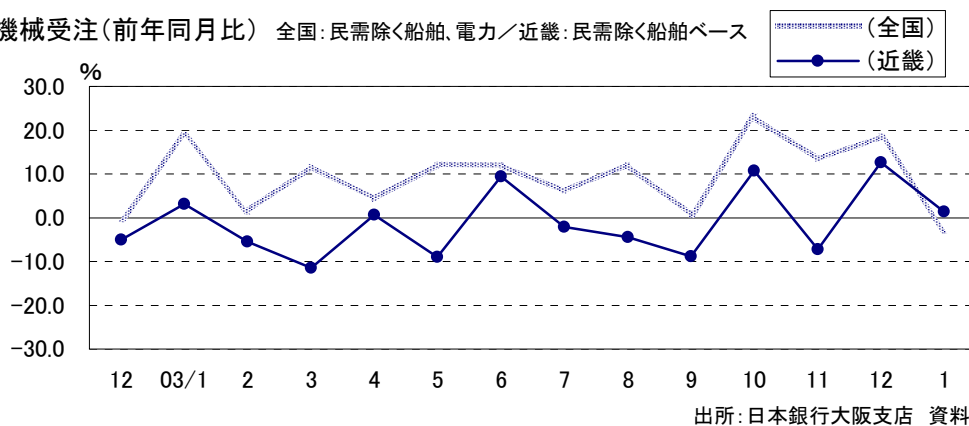
◇近畿は、前年比 12.4% 増。分譲住宅の堅調な動きに加え、持ち家や貸家も増加したため全体でも大幅増になった。景気が回復基調にあるため、持ち家も回復傾向にある。

乗用車新規登録・届出台数（前年同月比）



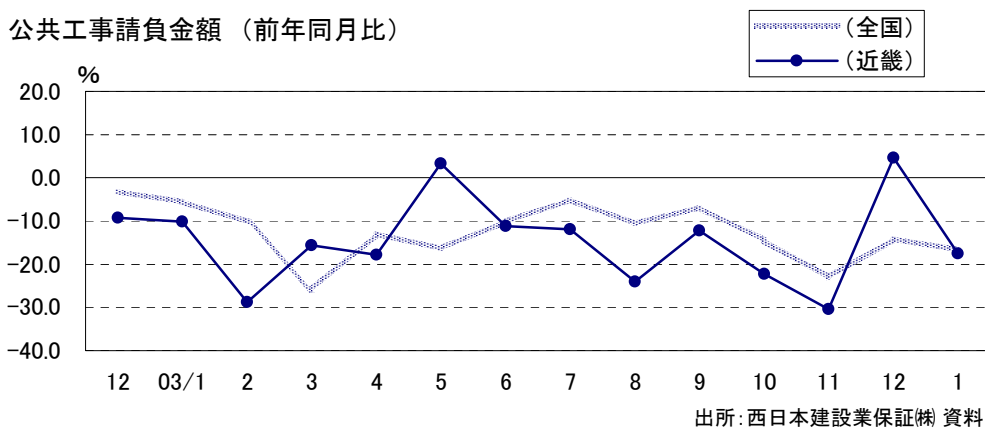
◇近畿は、前年比 5.5% 増。小型車は同 11.8% 減と 8 か月連続で前年を下回り不振であったが、ヒット車が相次いだ普通車が同 32.7% 増と 9 か月連続で前年を上回った。

機械受注(前年同月比) 全国: 民需除く船舶、電力/近畿: 民需除く船舶ベース



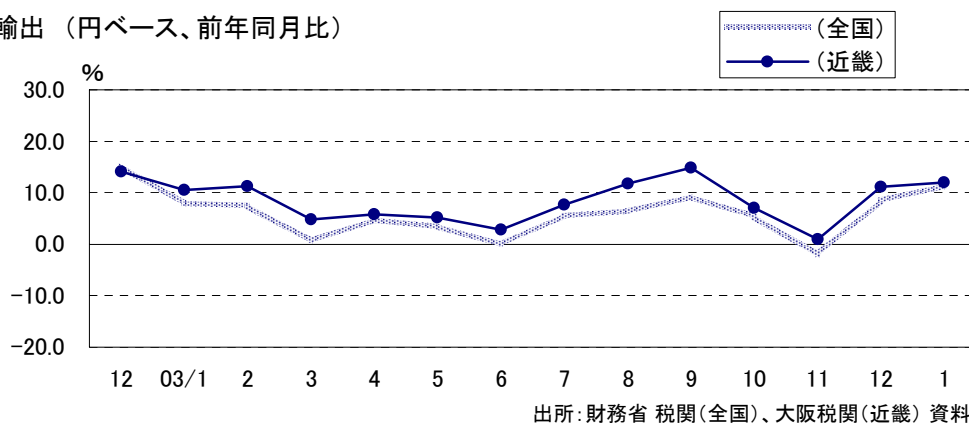
◇近畿は、引き続き増加傾向にある。中小企業の製造業のなかでも、半導体や液晶に関連する受注が伸びている。生産の増加に伴う設備の更新需要とみられる。

公共工事請負金額 (前年同月比)



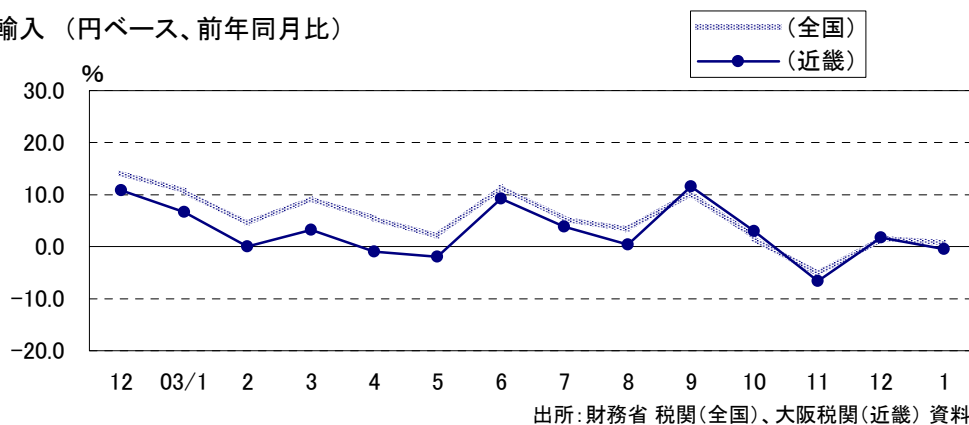
◇近畿は前年比17.6%減。大型工事により公団事業団等・その他の公共的団体で大幅増になったが、前年度大型工事の反動減から国・市町村・府県で大幅減となった。

輸出 (円ベース、前年同月比)



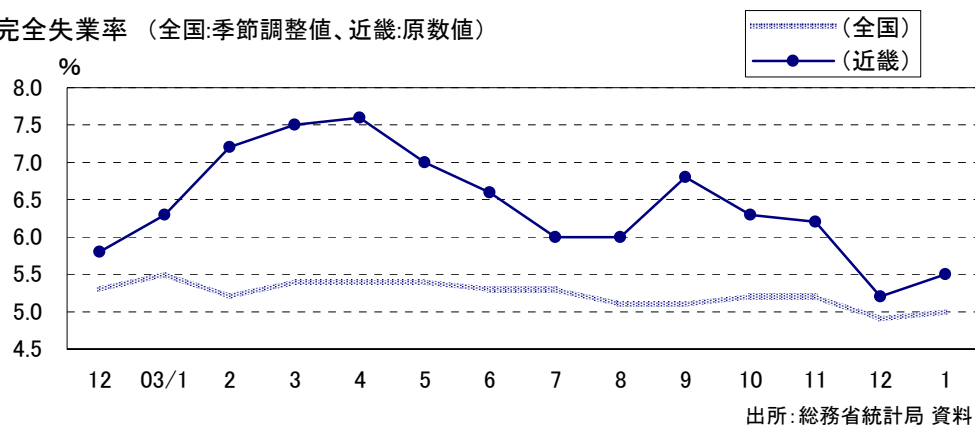
◇近畿は、前年比12.0%増。対アジア輸出は引き続き好調で、全体の約6割を占める。品目別にみると船舶などが減少したが半導体等電子部品、音響・映像機器部分品が増加した。

輸入 (円ベース、前年同月比)



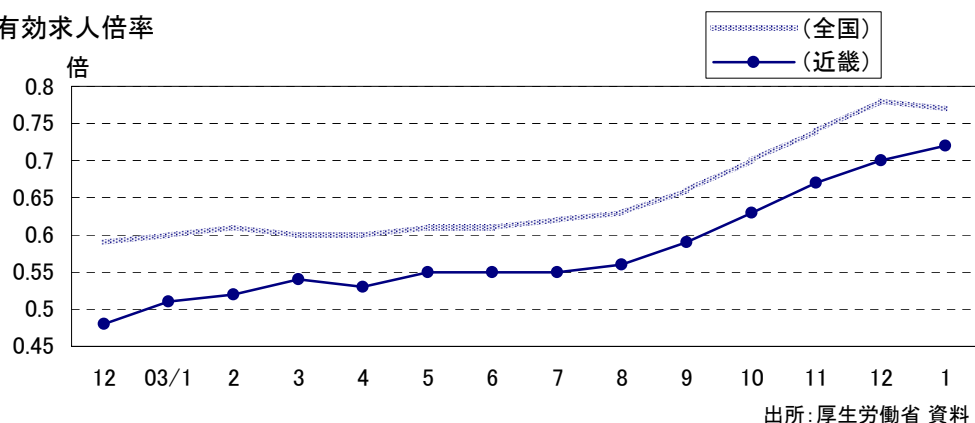
◇近畿は、前年比0.5%減。対米輸入は前年比15.0%減。米国産牛肉の禁輸措置により、米国からの肉類の輸入の大幅減が影響している。

完全失業率（全国:季節調整値、近畿:原数値）



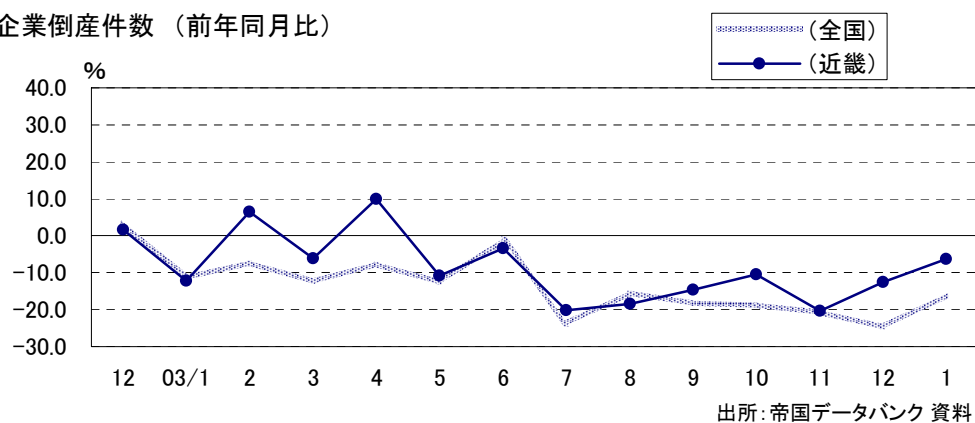
◇近畿は 5.5%、4 か月ぶりに悪化したが、前年比では約 1 ポイントの改善となり、改善傾向にある。企業のリストラが一巡し、雇員数は前年比 11 万人増の 834 万人となった。

有効求人倍率



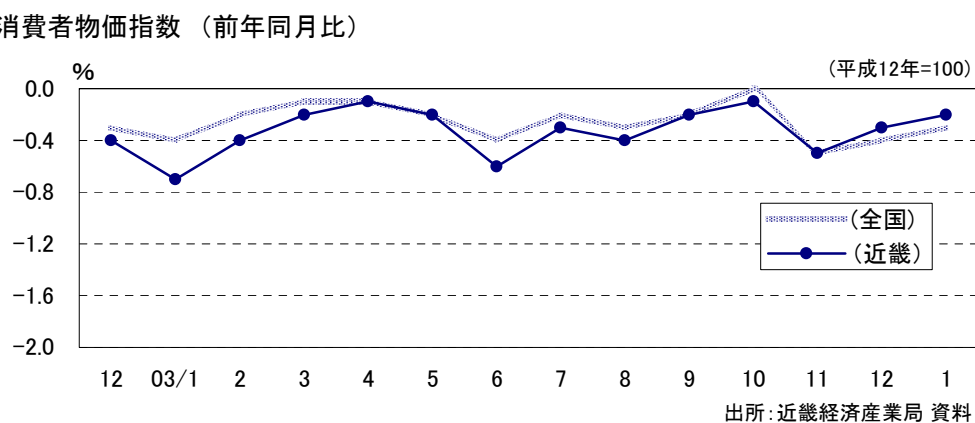
◇近畿は 0.72 倍。全国 10 ブロックのうち 8 番目であるが、改善基調である。デジタル家電や関連業界の好況により新規求人に見るべきがみられる。

企業倒産件数（前年同月比）



◇近畿は 296 件、9 か月連続の減少となった。一方負債も減少しているが、不動産、ゴルフ場関連の倒産が負債の上位を占めており、これらの負債総額は全体の約 5 割となっている。

消費者物価指数（前年同月比）



◇近畿は 97.1、前年比 0.2%減。デフレ傾向は続いているが、物価下落に歯止めがかかりつつある。内訳をみると、家具・家事用品の下落が目立つ。